

CLTフォーラム 2018

参加費
無料

日時: 2018年12月12日(水)13:30~17:00 (開場 13:00)

会場: ベルサール神田 ルーム1~3 定員: 300名(どなたでも参加可能)



(左) CLTモジュラーユニットを用いた8階建て集合住宅ブークオッカ(OOPEAA)



(中) フィンランドの伝統的ログ構法によるカルサマキ教会(OOPEAA)



(右) ギフメディアコスモス(伊東豊雄建築設計事務所)

<プログラム>

- 13:30 (開会)
- 13:35~14:35 (講演) <同時通訳付き>
アンツシ・ラツシラ(OOPEAA 代表)
「Better Life」
- 14:35~15:35 (講演)
金田 充弘(東京芸術大学 准教授)
- 15:35~15:50 (休憩)
- 15:50~16:50 (ディスカッション/質疑応答)
司会: 小見山陽介(京都大学助教)
登壇者: アンツシ・ラツシラ/金田充弘/原田浩司(木構造振興)
- 17:00 (閉会)

終了後 17:00~18:30で懇親会を行います。あわせて是非ご参加ください。
会費: 5,000円 会場: ルーム4(フォーラム会場の隣の部屋)

共催: CLT建築推進協議会 /  一般社団法人 日本CLT協会
後援: CLTで地方創生を実現する首長連合

お申込み: 日本CLT協会HP <http://clta.jp/events/6445/> →QRコードでお申込みページへ→



講演者プロフィール

アンッシ・ラッシラ (Anssi Lassila)

フィンランド出身。OOPEAA Office for Peripheral Architecture (:オーペアー) の設立者、ディレクター。カルサキ教会により国際的な注目を浴びる。伝統的構法を用いた彫塑的造形と、革新的な技術とを融合させた建築をテーマとしている。8階建て集合住宅にCLTモジュラーユニットを用いるなど、CLT建築にも取り組む。



金田 充弘 (かなだ みつひろ)

東京都出身。ロンドンから世界展開するエンジニアリング・コンサルティング事務所Arupに所属し、ロンドンと東京で設計活動を開始。東京藝術大学美術学部建築科准教授。レンゾ・ピアノのメゾンエルメスや伊東豊雄の台中オペラハウスなどの数々の話題作も担当。



原田 浩司 (はらだ こうじ)

山口県出身。安藤建設株式会社入社後、木造住宅の工務店、木質構造専門の構造事務所、集成材メーカーを経て、現在、木構造振興株式会社客員研究員などをつとめる。国内での多数のCLT建築物に携わる。



開催趣旨

日本では2016年4月にCLTに関する建築基準関連告示が施行され、一般利用がスタートしました。本フォーラムでは、CLTを使った建築物について欧州の事例から学ぶと共に、建築家同士のディスカッションを通じて、日本での議論を深め、また、CLT建築普及のための機会とすべく企画いたしました。

会場

ベルサール神田 ルーム1~3

東京都千代田区神田美土代町7
住友不動産神田ビル3F

アクセス

小川町駅B6出口徒歩2分(都営新宿線)
新御茶ノ水駅B6出口徒歩2分(東京メトロ千代田線)
淡路町駅A6出口徒歩3分(東京メトロ丸ノ内線)
神田駅北口徒歩7分(JR線)



<お申込み> 日本CLT協会HP <http://clta.jp/events/6445/> →

